

# 現代人の言語行動における“配慮表現”

～「言語行動に関する調査」から～

メディア研究部 塩田雄大

「配慮表現」(対人関係を良好に保つための表現)をどのように使うか、どのように感じるのかは、すべての日本人にとって一様ではなく、いろいろな違いがあるものと想像される。いくつかの配慮表現を取り上げて試論的に調査をおこなってみたところ、例として以下のような変異が見られた。

- ▼ 若い年代になるほど、「おかげさまで」という言い方を支持する割合が小さくなる。
- ▼ メールの冒頭で「お疲れさまです」と書くことは若い人に特に支持されており、高齢層との年代差は非常に大きい。
- ▼ 何かを渡すときに「つまらないものですが」と言うことについては、女性では「おかしい」と感じる人が多い。
- ▼ 「コップを割ってしまったんですが」といった「自責的表現」は、女性のほうが支持率が高い。
- ▼ 最初から断るつもりで「考えておきます」と言うことは関西で多いという説があるが、このことはデータからは裏付けられない。

ことばの発音や単語に個人差や「ゆれ」があるのと同じように、文や発話の用い方にも、さまざまな変異がある。たとえば、ある意思をどのような文・発話の形で表現するか、ある文・発話は(人によって)解釈のされ方にどのような違いがあるのか、それを聞いてどのような印象を受けるか、また、そもそもそのような言い回しを自発的にするのかどうか、などといったことにも(男女間・年代間・地域間などの)変異が存在するはずであるが、それらに対する実態的・実証的な調査はこれまであまり進められてきておらず、明らかになっていないことが多い。

ここでは、さまざまな言語行動に関して尋ねた調査の結果から、「配慮表現」に関連するいくつかの事項を取り上げて、予備的な考察をおこなう。

## 1 配慮表現とは

配慮表現とは、「対人的コミュニケーションにおいて、相手との対人関係をなるべく良好に保つことに配慮して用いられる言語表現」(山岡政紀(2010) p.143)である。このような機能を持つ言語表現は日本語では日常的によく使われており、「これから向こう十年の日本語語用論研究は、配慮表現研究が主流となることは間違いない」(同p.138)とされている。

これ以降、「定型的表現」および「自動詞表現と他動詞表現」という観点から、配慮表現に関わる項目の先行研究と調査結果を検討する。調査対象として選定された項目は、いずれも先行研究の蓄積がある程度なされているものが中心となっている。

## 2 定型的表現

### 2.1 各表現をめぐる先行研究など

#### A「このあいだはありがとう」

「せんだって是有りかとう」といったようなあいさつについてどう思ふかを、1981年度から1982年度にかけて全国の9つの高校の学生に尋ねた調査(1,113人回答、徳川宗賢(1993))がある。その結果として、「ベタベタしていやな感じ」と答える割合が、男子では女子よりも高く表れている。

#### B「おかげさまで」

「おかげさまで」という言い方は、本来は相手の世話になっているかどうかに関係なく使える言い方である。

「おかげ」は、日本人のあいさつの中に根深く残っており、人力を越えたもの、神仏の加護とか、自然の力を大きく感じているあらわれだと思ふ。だから、あらゆるあいさつ語の受け答えに対して「おかげさまで」は通用する。神仏といつても、キリスト教などと違つて、日本には神さまは八百萬あるのだから、どの神様の「おかげ」というのでもない。お天気がいいのも、病気が治つたのも、良縁を得たのも、さらに極楽往生したのも「おかげさまで」である。」

(奥山益朗(1969) pp.74-75)

「相手のおかげで」という状況において調査されたものとしては、文化庁の全国調査がある。1999年に「(美術品などを見せてもらったとき)『おかげさまで、目の保養になりました』という言い方を使うことがあるか」について尋ねている(全国2,200人回答、文化庁(1999))。

一方、病気から回復したとき(=相手の世話にはなつていない状況)に「おかげさまで、すっかりよくなりました」と言うことに関して、高校生に尋ねた調査(先述、徳川宗賢(1993))では、好意的に思わないという回答が、一部を例外として地域的に東高西低になっていると報告されている。

何も世話になつていない場合でも「おかげさまで」と言うかどうかについて、NHK放送文化研究所ではウェブ上でのアンケートをおこなつたことがある。この結果では、「自分でも言うことがあるし、この言い方に問題はないと思ふ」という回答が、若い年代になるほど少なくなつていくことが示されている(2,075人回答、塩田雄大(2006))。

#### C「考えておきます」

「考えておきます」については、下記のように「関西に特徴的な表現」とであるとされることもある(この問題についてはのちほど取り上げる)。

「日本人の「察し」という言語行動では、関西人の「考えておきます」という表現もよく知られている。これは、ちょっとやっかいな頼まれごとに対して、やんわりと断るときの常とう表現である。したがつて「考えておく」といわれた人は、文字通り考えてくれるとは受け取らず、その場で断られたと察して他の手段を考える必要がある。」

(江川清(2003) p.38)

相手からのお願い・提案を断るつもりで「考えておきます」と言うことについてウェブ上で実施したアンケートでは、問題ないと考える人の割合が、若い年代になるほど多くなつていた(先述、塩田雄大(2006))。

また国際比較の調査として、日本（大阪，263人）と韓国（ソウル，326人）の大学生を対象にしたアンケート結果がある（洪珉杓（2007））。親しい友人に自分がやっていたアルバイトを紹介したとき、「考えておく（韓国語では『생각해 볼게』）」と言われたらどのように受け止めるかを尋ねたものである。その結果、日本では「断られたと思う」人がもっとも多かったのに対して、韓国では「承諾と断りを半々ずつ考える」人が主流であった。ただし、自分の親から言われたという場面（ノートパソコンまたはデジタルカメラを買ってほしいと頼んだことに対して）を想定した場合には、日韓とも期待値が増加する結果になっている。同様に、親しい相手に「考えておく」と言われた場合には5割程度の期待を感じるが、親しくない相手からの場合には3割程度になるというような傾向が、関西の大学生91人を対象にしたアンケートの結果から指摘されている（森山卓郎（1990））。

なお、友達に頼みごとをして「考えておこう」と言われたときにあきらめるかどうかを高校生に尋ねた調査（先述，徳川宗賢（1993））の結果では、あまり明瞭な地域差は表れていない。

#### D「つまらないものです」

相手に何かを贈呈する際に言う「つまらないものです」は、日本的な表現であり外国語にそのまま訳しても意図が通じないとよく言われている（直塚玲子（1980）pp.65-66，浅間正通（1994），加藤典子（2009））。ただし中国語には、これに対応する言い回しがある（皇麗梅・川本信幹（1997））。

「つまらないものです」に関する大規模な調査としては、文化庁の全国調査がある。1997年には「人に贈物をするとき『つまらな

いものです』などと謙遜するかどうか」を尋ね、1999年には「（人に贈物を渡すとき）『つまらないものです』という言い方を使うことがあるか」について尋ねている（それぞれ全国2,190人・全国2,200人回答，文化庁（1998）（1999））。

「つまらないものです」という言い方についてどう思うかを高校生に尋ねた調査（先述，徳川宗賢（1993））があるが、そこではあまり明瞭な地域差は表れていない。また1998年から1999年にかけて静岡県内でおこなわれた事例調査では、「つまらないものです」は外国人向けの日本語教科書でよく提示されているにもかかわらず、日本人の実際の使用率は（少なくとも静岡県内では）さほど高くないことが示された（清ルミ（2003））。

なお、この表現をめぐる「日本人の中でもこういった表現をやや偽善的と感じ、好感を持たない話者がいる」と指摘されている（竹内泰子（2012））。

#### E「ありがとう／すみません」

現代日本語では、相手が何かを（して）くれたときに「ありがとう」とも「すみません」とも言うことができる場合が少なくない（塩田雄大（2002））。感謝の意味で用いる「すみません」は、以下にも見られるように戦後に広まった用法であると考えられる。

「（『すみません』は）戦前からあるんですが、あまり品のよくない言葉としてあったのが、戦後大変蔓延して、こちらも言うようになってしまいました。もともと「済みません」というのは、下の者に対して言う場合以外、普通には余り使わなかった。感謝の意味の「済みません」が蔓延したの

は、やっぱり戦後かもしれませんね。」  
(文化庁(1981)掲載の奥山益朗氏の座談会での  
発言/奥山益朗(1969) p.49にも同様の記述あり)

「買い物客に対して店の人が、「ありがとう  
ございます」という意味で「すみません」  
というのを近ごろよく耳にします。わたし自  
身の経験では、昭和十五、六年ごろ、京  
都の旧制三高生のときに聞いたのが最初で  
す。〔中略〕たぶん、東京の下町あたりで、  
昭和の初年ごろ、早くても大正年代に、こ  
のような言い方が生まれたものでしょう。」  
(永野賢(1969) p.133)

いろいろな世代の社会人(男性51人、女性  
221人)を対象にして1992年におこなわれたア  
ンケートの結果からは、感謝の「すみません」  
は若い世代では目上やソトの人に多用されるの  
に対して、上の世代では目下や友達(ウチ)に  
対して使われる傾向があると指摘されている(小  
川治子(1993))。

## F「ありがとう【ございます/～ました】」

「ありがとうございました」という言い方は、  
かつてはあまりいい印象を持たれていなかった  
ようである。下記は、1941(昭和16)年7月に  
発行された雑誌に載せられている内容である。

「佐藤(春夫)〔中略〕「有難うございます」  
と現在の形で言つて居ると感謝の意味  
が非常に濃いのですが、「有難うござい  
ました」と過去の形にすると現金で感  
情は非常に薄くなります。

大岡(保三)聴いても非常に不愉快ですね、  
デパートなどで買物をするとき皆「ました」  
ですね。」

(日語文化協会(1941)p.67 掲載の座談会での発言)

なお「ありがとうございました」については、  
藤原与一(1954) p.187, 奥山益朗(1969) p.47,  
森田良行(1981) p.186, 森田良行(1988)  
p.172, 文化庁編(1995) p.615, NHKアナウ  
ンス室編(1997) p.22, 角田三枝(2001) p.55,  
向井留実子・湯晴(2004)などでも取り上げら  
れている。なかでも向井留実子・湯晴(2004)  
は「ありがとうございます」と「ありがとうござ  
いました」がどのような状況のときに使える/  
使えないのかを詳細に分析しており、「ありが  
とうございました」が表す事項を「①完結した  
行為に対する感謝 ②談話・会話の終結」であ  
ると指摘している。

## G「お疲れさまです」

「お疲れさまです」というあいさつは、もと  
もと芸能界からもたらされた可能性が考えら  
れる。下記の記述は、そのことを裏打ちする。

「この五月に出たある雑誌の随筆欄(矢  
野誠一氏)によると、氏の子どものころ東  
京の山の手の中流階級の上または上流階  
級の下ぐらいの人々の間に「お疾<sup>ママ</sup>れ様」と  
いう言葉は無かったそうである。それがあ  
る時映画俳優の長谷川一夫が近所に引  
越して来て、この「お疲れ様」を使い出  
したのが異様に聞こえたと言う。この随筆に  
よると、「お疲れ様」は元来芸能界の人の  
言葉であつたらしく思われる。」  
(「日本語」73年8月号9「現代語の観察」その  
二 山本忠尚)  
(見坊豪紀(1979) p.20 から再引用)

「お疲れさまです」に関する大規模な調査と  
しては、目上の人に対する「お疲れさまで  
す」が失礼にあたるかどうかを尋ねたNHK放  
送文化研究所の調査(東京799人/大阪485

人回答、石野博史・稲垣文男(1987))がある。また文化庁の全国調査では、「注文した品を届けに来てくれた配達人に対して、配達が終わったときにかけることば」および「同じ会社で同じ仕事を一緒にした目上の人・目下の人に対して、その仕事が終わったときにかけることば」として、どのような言い方をするかについて尋ねている(全国2,107人回答、文化庁(2006))。その後、目上の人に「お疲れさまでした」「ご苦労さまでした」を使うことに関するNHK放送文化研究所の全国調査がなされている(全国1,320人回答、田中浩史・山下洋子(2009))。

「お疲れさま」の運用をめぐる変遷は、倉持益子(2008.2)(2008.6)(2011)に詳しい。塩原淳平(2006)では、別れの場面での「お疲れさま」について大阪の大学生に実施したアンケートの結果が分析されている。また、その日に会うのが最初である状況で「お疲れさまです」と言うような新用法の発生をめぐるのは、登田龍彦(2004)において分析が試みられている。

今回の調査は、この新用法(その日に会うのが最初である状況、およびメール文の冒頭での「お疲れさまです」)について尋ねたものである。

なお、会議などの冒頭で「お疲れさまです」や「ご苦労さまです」が用いられるのは、必ずしもごく最近始まった現象ではない。たとえば25年ほど前の放送用語委員会の議事録(1985年5月の第1000回記念放送用語委員会、『放送研究と調査』35-7に掲載)には、「先生方、ほんとうに御苦労様でございます。」という代表者のあいさつから始まっていることが記録されている。

## 2.2 結果の分析

各項目の単純集計結果は、81~83ページを参照されたい。ここでは、年代差・男女差・地域差などに関して、全体としてどのような状況が観察されるのかを、概観してみる。

ここでは、各項目に関して、もっとも多く回答された選択肢(最頻回答)を取り上げ、その大きい順に上から配列して、それぞれその内訳を示した(表1)。最頻回答を採用したのは、現代の日本社会における言語現象の変異を包括的に観察する場合、属性差のありなしを一定の確度をもって判定するためには、まずは「もっとも主流である選択肢」の状況を分析することが必要であると考えためである。あまり多くは選ばれていない回答の属性差を取り上げることも、今後の動向を探るためには必要なことではあるが、第一段階としてすべきことは、最頻回答の分析であると判断した。ただし「ありがとうございます/ありがとうございます」の設問に関しては、最頻回答である「『ありがとうございました』がふさわしい」が全体で28%と少ないため、ここに「両方とも問題ないが『ありがとうございました』のほうがいていい」(全体で20%)の数値も加えて「[~ました]支持派」として示すことにした。

年代差については、49歳以下[650人]と50歳以上[688人]の2区分とした。このように分けることによって両集団の実数がかなり近いものになる。地域差については、「東日本/西日本」という2区分も可能ではあるが、言語行動のように多様な性格のものを、たとえば「西日本」として均質に(=この場合、「関西と九州の人は言語行動の面であまり違いがない」という前提に立つことになる)取り扱ってしまうてよいものかという躊躇もある。そのため、こ

表1 定型的表現に関わる項目の属性差の概観

(%)	全体 (1,338人)	49歳 以下 (650人)	50歳 以上 (688人)	男 (646人)	女 (692人)	北海道 (59人)	東北 (98人)	関東 (437人)	甲信越 (58人)	東海 (153人)	北陸 (35人)	関西 (218人)	中国 (77人)	四国 (47人)	九州・ 沖縄 (156人)
だれかに会ったとき、最初に「このあいだはありがとう・先日はお世話になりました」などと、前回会ったときのお礼を言う場合があります。このようなことについて、どう思いますか。 【必要なことだと思う】	79	80	78	77	81	81	79	80	76	77	83	79	81	79	76
「ご家族はお元気ですか」とたずねられて、「おかげさまで元気です」と答える場合があります。このように、「おかげさまで」という言い方を、直接的には世話になっていない人にまで言うことについて、どう思いますか。 【自分でもこのように言うことがあるし、この表現はおかしくない】	61	<u>55</u>	<b>66</b>	59	62	63	56	62	66	58	60	60	57	<b>77</b>	58
相手からのお願い・提案を断るつもりで「考えておきます」と言う場合があります。このような「考えておきます」について、どう思いますか。 【自分でもこのように言うことがあるし、この表現はおかしくない】	59	59	58	58	60	64	<u>45</u>	<b>63</b>	60	52	51	56	61	62	63
相手に何かを贈呈するときに「つまらないものですが」と言う場合があります。このような「つまらないものですが」について、どう思いますか。 【自分でもこのように言うことがあるし、この表現はおかしくない】	49	49	49	<b>54</b>	<u>44</u>	61	<u>36</u>	52	55	<u>39</u>	49	48	55	57	48
落としてしまったハンカチを知らない人に拾ってもらったとします。そのときのお礼のことばについてお答えください。 【「ありがとう(ございます)。」と言うのがふさわしい】	49	47	52	51	48	54	41	48	<b>66</b>	48	<u>31</u>	49	53	55	53
デパートの店員が、買い物をした客に対して「ありがとうございます」と言ったり、「ありがとうございました」と言ったりすることがあるかと思います。この2つの言い方についてお答えください。 【「ありがとうございます。」というのがふさわしい(「ありがとうございました。」はふさわしくない)】 + 【両方とも問題ないが、どちらかといえば「ありがとうありがとうございました。」のほうがいていねいな言い方である】 [=「～ました」支持派]	48	<u>44</u>	<b>52</b>	48	48	47	<u>38</u>	48	<b>71</b>	<u>35</u>	54	<b>55</b>	47	51	51
(その日に会うのが最初であるときに会話の冒頭で)「お疲れさまです。」 【自分でもこのように言うことがあるし、この表現はおかしくない】	46	<b>55</b>	<u>38</u>	<b>49</b>	<u>43</u>	58	51	45	36	42	51	43	44	49	53
(メールの冒頭で)「お疲れさまです。」 【自分でもこのように書くことがあるし、この表現はおかしくない】	43	<b>61</b>	<u>26</u>	<u>40</u>	<b>46</b>	39	43	<b>47</b>	38	36	40	38	47	34	<b>51</b>

[網かけ斜体は有意に大、網かけ下線は有意に小(ともに信頼度95%以上)]

※有意差の判定は母数の大きさに左右されるので、%の数値が同じであっても地域によって判定結果が異なる

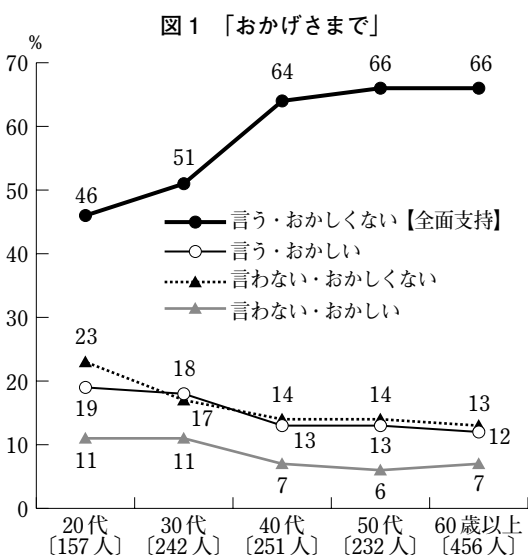
ここでは各都道府県をそれぞれ「地域ブロック」にまとめたものを取り上げた。

ある層・集団での回答比率が、全体での当該回答比率に比べて有意(信頼度95%以上)に大きい/小さいものに、網かけを施した。有意差の判定にあたっては、本稿では「一部従属なパーセントの差の検定」(杉山明子(1984) p.176)を用いた。

以下では、ここで差の表れた各項目に関して、その年代差・男女差・地域差をさらに細かく見てみる。

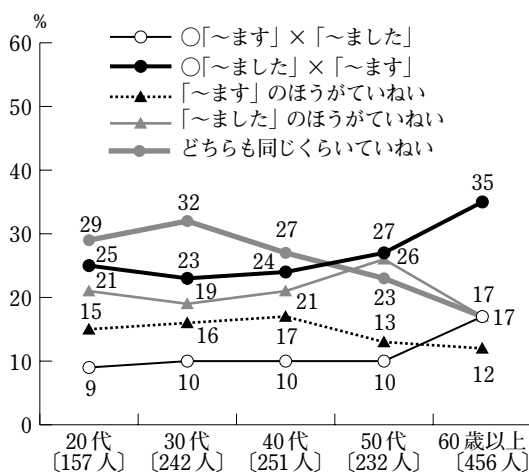
## 2.2.1 年代差

まず「おかげさまで」に関して、回答者を10歳刻みで見ると、[言う・おかしくない](これ以降【全面支持】と呼ぶ)が、若くなるほど少なくなっていることがわかる(図1)。そのぶん、「おかげさまで」は言わないという人や、おかしいと思う人の割合が多くなっている。なお、今回得られたこの傾向は、過去におこなったウェブ上でのアンケート結果(先述、塩田雄大(2006))とも共通している。



「ありがとうございます【ます/ました】」については、[○「~ました」 ×「~ます」]は若い年代ではやや少なくなっている(図2)。では、そのぶん若い人たちに「~ます」を支持する回答が多くなっているかというとはそうではなく、[どちらもおなじくらいいい]が多いのである。つまり、若い人たちにとっては、両者を区別する意識そのものが、比較的希薄である。

図2 「ありがとうございます【ます/ました】」



会話冒頭・メール冒頭での「お疲れさまです」については、若い年代になるほど【全面支持】が多くなっている(図3・4)。そのなかでもメール冒頭でのほうでは年代差の傾斜が非常に激しく、メール文における使用が特に若い年代を中心に急速に広まっていることがわかる。

なお、表1では有意差は表れていないが、「ありがとう/すみません」に関して上位3つの回答を10歳刻みで見ると、若い年代になるほど「両方とも問題ないが、どちらかといえば「ありがとう(ございます)」のほうが多い言い方である」という回答が多くなっていることがわかる(図5)。

図3 「お疲れさまです」(会話冒頭)

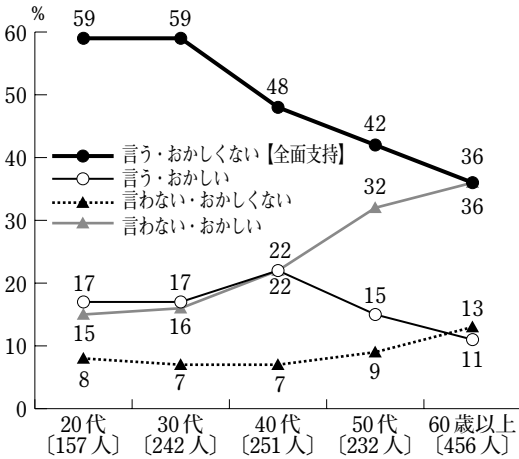


図4 「お疲れさまです」(メール冒頭)

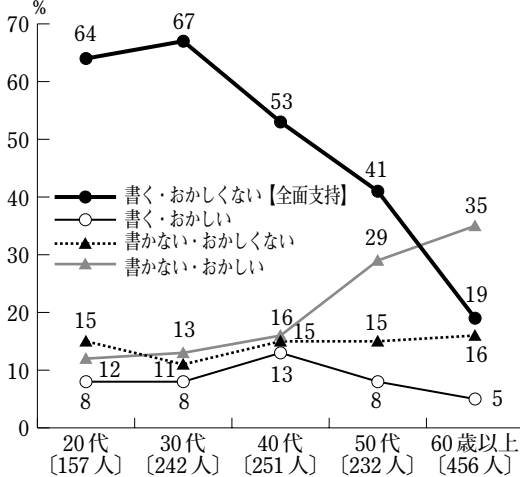
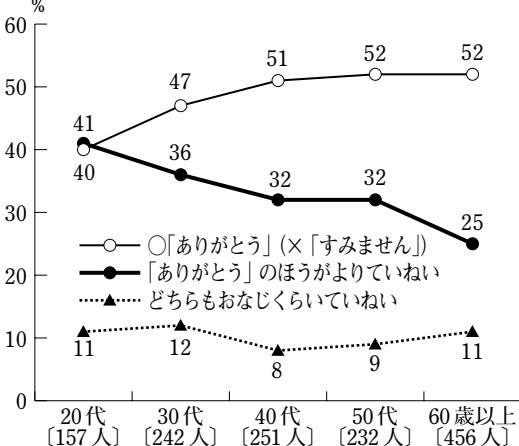


図5 「ありがとう／すみません」



## 2.2.2 男女差

「つまらないものですが」では、男性では【全面支持】が多いのに対して、女性では「言う・おかしい」「言わない・おかしい」が多くなっている(図6)。この2つの回答を合わせると、女性では46% (四捨五入の結果)となる。ここから、「つまらないものですが」を「おかしい」と考える人は、女性ではかなり多いことがわかる。

「お疲れさまです」では、会話冒頭では男性のほうが【全面支持】が多いのに対して、メール冒頭では反対に女性のほうが【全面支持】が多くなっている(図7・8)。

なお、表1では有意差は表れていないが、「ありがとう／すみません」に関して男女別に見てみると、女性のほうが「両方とも問題ないが、

図6 「つまらないものですが」

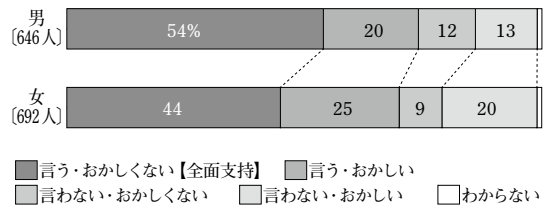


図7 「お疲れさまです」(会話冒頭)

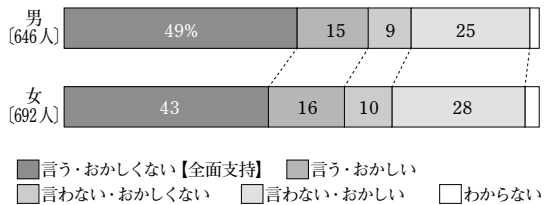
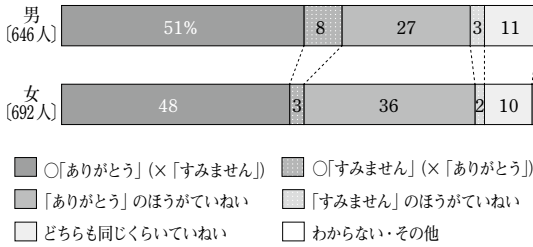


図8 「お疲れさまです」(メール冒頭)





図9 「ありがとう／すみません」



どちらかといえば『ありがとう(ございます)』のほうがいい言い方である」という回答が多くなっていることがわかる(図9)。

### 2.2.3 年層差 × 男女差

「おかげさまで」については、【全面支持】が女性50歳以上に多く、男性49歳以下では比較的少ない(図10)。また、女性のほうが男性よりも【全面支持】が多い様子が、49歳以下・50歳以上の両方の年層において見られる。これとは異なり、「つまらないのですが」で

は、【全面支持】が男性の両年層に多く、女性50歳以上では比較的少ない(図11)。男性のほうが女性よりも【全面支持】が多い様子が、両方の年層において見られる。

会話冒頭の「お疲れさまです」は、【全面支持】が男性49歳以下に多く、女性50歳以上では比較的少ない(図12)。

それに対してメール冒頭の「お疲れさまです」は、2.2.1でも見たとおり年代差が特に大きいのが特徴で、49歳以下での【全面支持】は男女とも非常に多い(図13)。また、49歳以下では男女差があまりないのに対して、50歳以上では回答の構成割合に違いがあり、男性50歳以上で【全面支持】の割合がかなり小さい。その結果として、全体の男女差としても表れる形になっている。なお、さきほどは煩雑を避けて表示しなかったが、50歳以上では男女ともに「わからない」が比較的多い。おそらく、メールを日常的には使わない人がやや

図10 「おかげさまで」

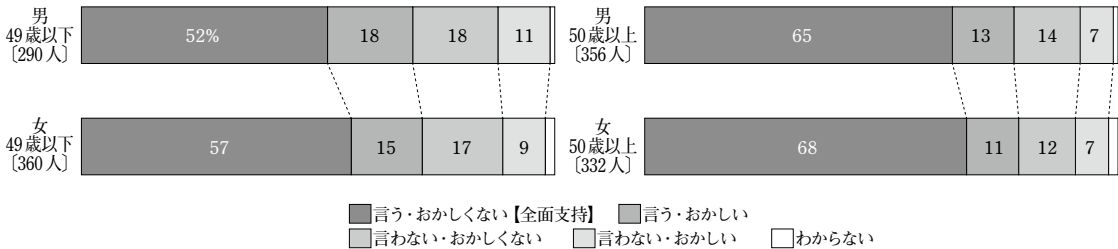


図11 「つまらないのですが」

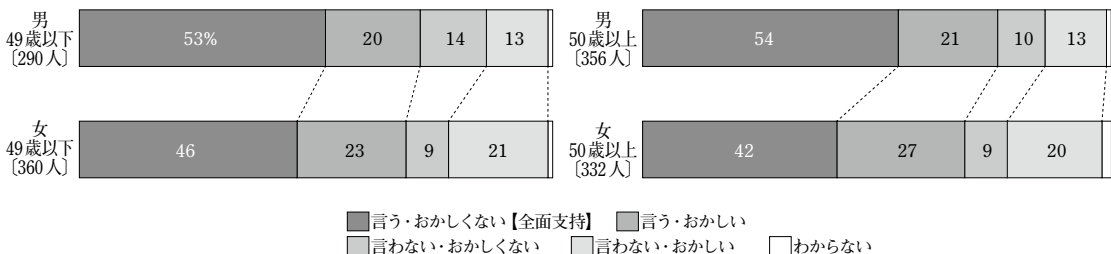


図 12 「お疲れさまです」(会話冒頭)

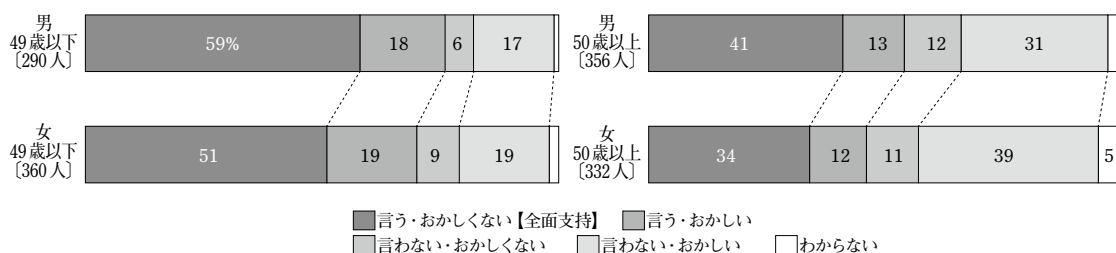
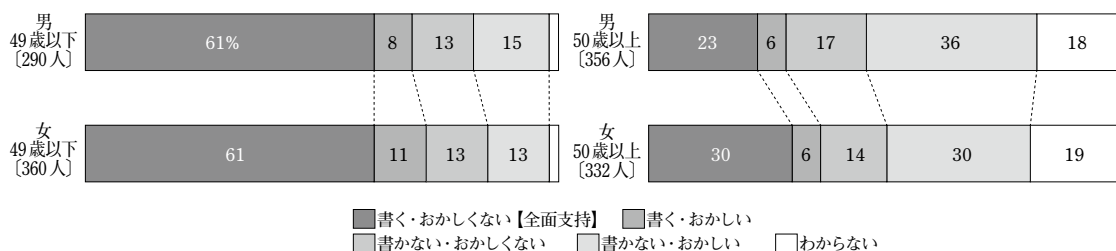


図 13 「お疲れさまです」(メール冒頭)



多くを占めているためであろうと思われる。

## 2.2.4 地域差

表1に戻って見てみると、まず「ありがとうごさい【ます/ました】」にいくつかの地域差が見られることがわかる。「[~ました]支持派」は甲信越・関西で多く、東海・東北では少ない。

また「考えておきます」への支持については、関東で多く、東北では少ない。「考えておきます」が「関西でよく使われる」という説を本稿の冒頭で示したが、今回の調査の結果では、関西での回答パターンは全国平均とさほど変わらない。なお、ウェブ上でおこなったアンケート調査でも同様で、関西の支持が全国平均に比べて多いというような結果は得られていない(塩田雄大(2006))。

「考えておきます」は、少なくとも現代では、「発祥地」であるかどうかは別として) 関西で特に多用されているということはないようである。

「つまらないものですが」については、東北と東海で有意に少ない。本稿の冒頭において、「つまらないものですが」の実際の使用率はそれほど高くないという結果が導かれている論考(清ルミ(2003))を紹介したが、そこでは「本稿の仮説検証は、無作為抽出によるものではなく、静岡県下において偶発的に被験者になった人を対象にした事例研究にすぎない。」(p.27)という丁寧な留保が付されていた。今回の調査結果からは、静岡県を含む東海地方は「つまらないものですが」を相対的にあまり使わない地域として位置づけられることがわかった。つまり、「つまらないものですが」は、日本語全体としては、東海地方での使用実態よりも、もう少し頻繁に使われているはずである。

全体として見ると、「東日本/西日本」という形でまとまった様相を示している項目は1つもない。語形の「ゆれ」では「東日本/西日本」という分布になるものもよくあるが、少なくとも

も今回の「定型的表現にかかわる配慮表現」のようなものに関しては、安易に「東日本／西日本」というようなまとめかたをすべきはないことが、この結果からも確認される<sup>1)</sup>。

### 3 自動詞表現と他動詞表現 ～「責任の主体」はどこにあるか～

大阪モノレールでは、扉を閉める際のアナウンスを2008年11月から「扉を閉めます」に統一した。その目的は、「扉事故」の防止と、定時運行・安全輸送のためだとしている<sup>2)</sup>。これは、多くの日本人にとって「扉が閉まります」のほうが自然に聞こえるということをもまえたうえで、ある目的を持って、わざと不自然な言い方である「扉を閉めます」を採用したものと想像される。なお読売新聞新日本語取材班(2005)によると、2001年9月からJR西日本の大阪支社管内の主要ターミナル駅でも「ドアを閉めます」を試験的に採用しているという。

「扉を閉めます」について考えてみると、「扉」が自然現象のように開いたり閉まったりすることはありえず、必ず車掌が意図的に「閉めて」いるはずである。もし車掌がアナウンスをするのであれば論理的には「扉を閉めます」と言うべきところなのだが、実際には、両方の表現が聞かれる。そして、何か特別な場合でないかぎり、多くの日本人にとっては「扉が閉まります」のほうが自然に聞こえる。

これは、意味上は「他動的」な行為(=「閉める」)であるにもかかわらず、表現としては「自動詞」(=「閉まる」)が慣習的に使われているものである。熊鷹(2009)では、「日本語では、引き起こし手が積極的に対象に働きかけて変化を引き起こす表現は好まれず、対象を中心と

して何らかの変化が起きたという自動詞表現が多く用いられる傾向がある」と指摘されている。日本語にはこのような素地があるために、「野菜が炒まる」のような自動詞表現(深草耕太郎・坂本充・塩田雄大(1998))が新たに生まれてくることがある。

また、わざとではないけれどもあるものを壊してしまった場合、たとえば皿を割ってしまったときなどは、意図的な行為ではなくても他動詞表現が用いられることがよくある。自動詞表現「皿が割れてしまいました」と他動詞表現「皿を割ってしまいました」の両方が可能である状況では、他動詞表現のほうが「割った責任は自分にある」(=「自責的表現」)というニュアンスが伝わる<sup>3)</sup>。

このような現象に関して、「日本語の自動詞と他動詞が意味的・形式的なペアをなす場合、望ましい事態の実現やそのような結果に視点を置く場合は自動詞が、行為者の動作の着手や意志などに視点を置く場合は他動詞が選ばれる傾向がある」(守屋三千代(2003) p.93)と記述されている。

このように自動詞と他動詞の両方が可能である状況でどちらを選ぶかということも、下記の指摘からも導かれるとおおり、配慮表現のトピックの一部を成すものと考えられる。

「「あ、その花瓶割っちゃったの」を「あ、その花瓶割れちゃったの」と言えばあくまで現象表現にとどまるため、責任者の明示回避につながる。これにより、聞き手を責めない配慮につながる、というある種の価値観は、文化的背景という名の社会言語学的な原理に基づくものだと考えられる。また、「もう少し静かにしてくれないか」→「もう少し静かにならないか」はさらに話し手の「静かにしてほしい」という意向の明示を回避しているが、ここにも日本語世

界の社会言語学的な特徴が反映していると考えられる。さらに、自動詞的表現と名詞文・形容詞文の使い分けにより、行為者、行為の指摘を回避することで、責任者や行為者を明示せず、より婉曲的表現とする方法として、「お店は何時に閉めますか」→「お店は何時に閉まりますか」→「何時に閉店ですか」などもあげられる。」

(守屋三千代 (2004))

### 3.1 結果の分析

前章と同様に、年代差・男女差・地域差などに関してまとめたのが表2である。「ドア【が／を】～」に関しては、3つの選択肢すべての結果を示した。

まず年代差については、「ドアが閉まります」への支持率が、若い年代になるほど多くなっている(図14)。

男女差では、「コップを割ってしまったんですが」に関して、男性では相対的に支持率が

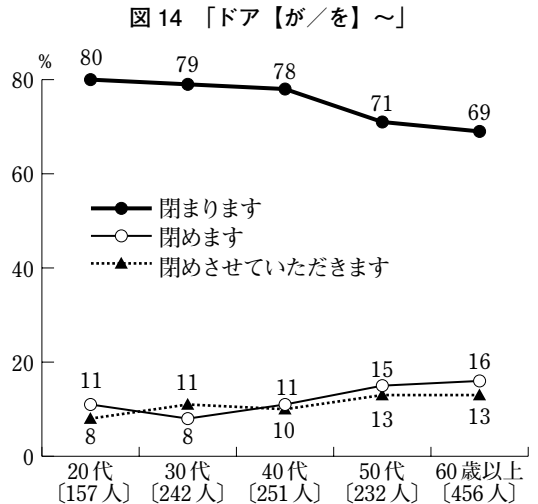


図15 A「コップが割ってしまったんですが」  
B「コップを割ってしまったんですが」

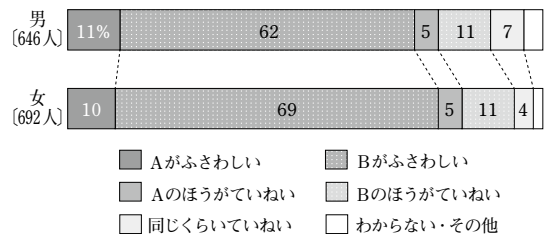


表2 自動詞・他動詞に関わる項目の属性差の概観

	(%)	全体	49歳以下	50歳以上	男	女	北海道	東北	関東	甲信越	東海	北陸	関西	中国	四国	九州・沖縄
		(1,338人)	(650人)	(688人)	(646人)	(692人)	(59人)	(98人)	(437人)	(58人)	(153人)	(35人)	(218人)	(77人)	(47人)	(156人)
電車のホームや車内のアナウンスとして車掌さんが使う言い方としては、次の中ではどれが最もふさわしいと思いますか。	【ドアが閉まります】	74	<b>79</b>	<u>70</u>	74	74	<b>88</b>	67	<u>70</u>	72	71	83	<b>81</b>	75	77	76
	【ドアを閉めます】	13	<u>10</u>	<b>15</b>	13	13	10	17	12	12	15	6	12	10	13	14
	【ドアを閉めさせていただきます】	11	10	13	12	11	<u>2</u>	11	<b>16</b>	9	13	11	<u>7</u>	14	11	7
ここにあげる2つの言い方について、あなたのお考えに当てはまるものを1つだけお答えください。レストランで、客が店員に話すことばとしてお考えください。 A. 「すみません、コップが割れてしまったんですが。」 B. 「すみません、コップを割ってしまったんですが。」	[Bがふさわしい (Aはふさわしくない)]	65	67	64	<u>62</u>	<b>69</b>	68	65	65	76	<u>54</u>	63	68	65	68	70

(網かけ斜体は有意に大、網かけ下線は有意に小(ともに信頼度95%以上))

※有意差の判定は母数の大きさに左右されるので、%の数値が同じであっても地域によって判定結果が異なる

図 16 「ドア【が／を】～」

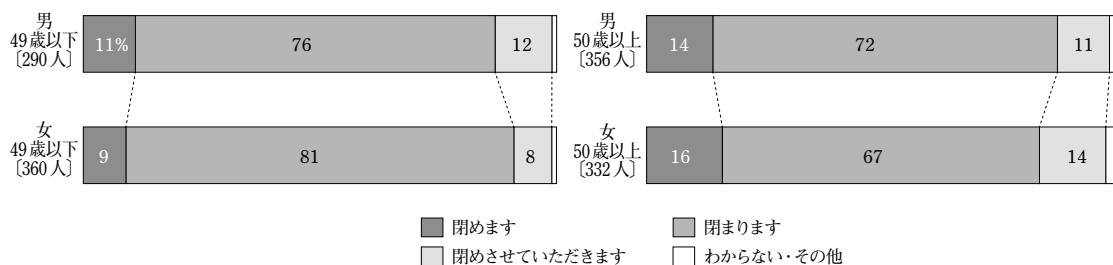
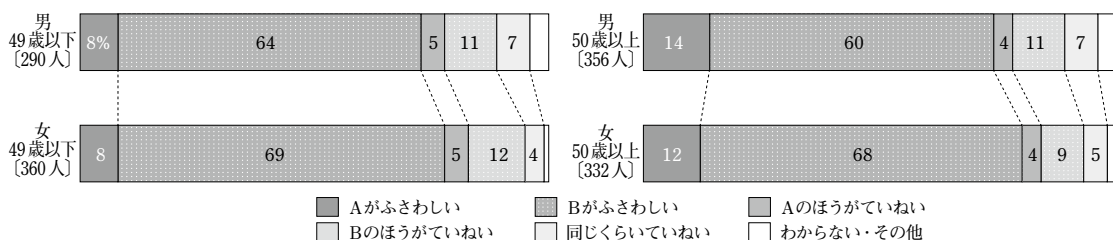


図 17 A「コップが割れてしまったんですが」 B「コップを割ってしまったんですが」



やや低い様子が見られる(図15)。そのぶん、「どちらも同じくらいいい」が多くなっている。

さらに男女年齢層にみると、「ドアが閉まります」では女性の年齢差が大きく、49歳以下では支持率81%であるのに対して、50歳以上では67%である(図16)。一方「コップを割ってしまったんですが」については、49歳以下・50歳以上ともに、女性のほうが他動詞表現(=自責的表現)の支持率が高いという傾向が表れている(図17)。

地域差は、「ドアが閉まります」の支持が北海道と関西で多く、「ドアを閉めさせていただきます」の支持は関東で相対的に多いことが指摘できる(表2)。さきほど大阪モノレールがアナウンスを「扉を閉めます」に統一したという事例を紹介したが、関西はもともと「扉が閉まります」に対する支持率が高い地域であり、「扉を閉めます」を耳にしたときのイン

パクトは他地域よりも強く働くものと想像される。

自動詞表現・他動詞表現の地域差については、定型的表現と同じく、全体として「東日本/西日本」という形でまとまった特徴を示すような項は見当たらない。

## 4 ここまでのまとめ

「定型的表現」および「自動詞表現と他動詞表現」の属性差について簡単にまとめてみると、次のように言うことができる。

- 年代差：若い年代になるほど、以下の傾向が相対的に見られる。
- ▼「おかげさまで」への支持が少なくなっている。
  - ▼会話冒頭・メール冒頭での「お疲れさまです」への支持が多くなっている。特

にメール冒頭での使用では高年層との差が大きい。

▼「ありがとうございます」と「ありがとうございました」を〔どちらも同じくらいていねい〕であるとする回答が多くなる。

▼自動詞表現「ドアが閉まります」への支持が多くなっている。

**男女差：**女性には、以下の傾向が相対的に見られる。

▼「つまらないものですが」は「おかしい」という回答が多い。

▼「お疲れさまです」に関して、会話冒頭での支持は男性よりも少なく、逆にメール冒頭での支持は多い。

▼自責の表現「コップを割ってしまったんですが」に関して、男性よりも支持率が高い。

**年層差 × 男女差：**

▼「おかげさまで」への支持は、女性50歳以上に多く、男性49歳以下には少ない。

▼「つまらないものですが」への支持は、男性に多く、女性50歳以上には少ない。

▼会話冒頭の「お疲れさまです」への支持は、男性49歳以下に多く、女性50歳以上には少ない。

▼メール冒頭の「お疲れさまです」への支持については、年層差が非常に大きい。特に、男性50歳以上での支持は少ない。

▼「ドアが閉まります」では女性の年層差が大きく、49歳以下が高支持、50歳以上では比較的低支持となっている。

**地域差：**

▼〔「ありがとうございます」支持派〕は、甲信越・関西で多く、東海・東北では少ない。

▼「考えておきます」の【全面支持】は、関東で多く、東北では少ない。関西で多用されているという説は、今回の調査結果からは裏付けられない。

▼「つまらないものですが」の【全面支持】は、東北と東海では少ない。

▼自動詞表現「ドアが閉まります」への支持は北海道と関西で多く、「ドアを閉めさせていただきます」への支持は関東で多い。

▼「東日本／西日本」という形でまとまった様相を示している項目は、1つもない。

配慮表現に関して付記するならば、学校の先生に対して「うちはきちんと給食費を払っているのだから、給食のとき子どもに『いただきます』と言わせるのはやめてほしい」と伝える親がいるという。現時点での即断は慎むべきであるが、こうした発想と、今回の調査で「若い年代で『おかげさまで』への支持が少なくなっていること」とは、はたして関連があるのだろうか。今後、事例調査を積み重ねてデータを蓄積し、さまざまな議論の土台として耐えうるようなものを作り上げてゆきたい。

(しおだ たけひろ)

注：

- 1) 西尾純二(2009)においても、「配慮言語行動の地域的多様性を明らかにするためには、どの地域規模(西日本・東日本、地方ブロック、都道府県、市区町村、小学校区など)で、どのような配慮言語行動の特徴が見られるかを解明していくことが課題になる。」という重要な提起がなされており、都道府県別をはじめとする詳細な分析を今後手がけなければならない。
- 2) [http://www.osaka-monorail.co.jp/jpn/information/whatsnew/log/t\\_log2008\\_11.html](http://www.osaka-monorail.co.jp/jpn/information/whatsnew/log/t_log2008_11.html)
- 3) 一方で、「責任意識の高さ」と「他動詞表現の使用」とがパラレルに結びついているわけではなく、少なくとも言語によって異なるようである。自動詞と他動詞に関して日本語と類似の使

い分けがある韓国語とインドのマラーティー語を  
通言語的に調査・比較した結果、日本語と韓国  
語では「責任意識が高ければ他動詞表現が用い  
られる」という傾向があるが、マラーティー語で  
はそのような相関は見られなかった(吉成祐子、  
ブラシャント・バルデシ、鄭聖汝(2010))。こう  
したことに加えて、心理面では責任意識が高く  
なくても、(社会的慣習から)言語表現としては  
他動詞表現を用いるということも、十分に考えら  
れると筆者は考えている。

## 引用文献：

- ・ 浅間正通 (1994) 「(日)・(英) 慣用表現比較に  
みる異文化理解教育の可能性：思考様式の特徴に  
焦点を当てて」『法経論集』72
- ・ 石野博史・稲垣文男 (1987) 「現代人と敬語 第  
一回言語環境調査から」『放送研究と調査』37-7
- ・ 江川清 (2003) 「日本人の言語行動の実態」  
『朝倉日本語講座9 言語行動』
- ・ NHK アナウンス室編 (1997) 『失敗しない話し  
ことば』河出書房新社
- ・ 小川治子 (1993) 「「すみません」の社会言語学  
的考察」『言語文化と日本語教育』6
- ・ 奥山益朗 (1969) 『日本語は乱れているか』東京  
堂出版
- ・ 加藤典子 (2009) 「英訳しにくい日本語表現」  
『東京工芸大学工学部紀要』32-2
- ・ 倉持益子 (2008.2) 「「お疲れさま」系あいさつの  
意味の希薄化と拡大」『明海日本語』13
- ・ 倉持益子 (2008.6) 「「お疲れ」系あいさつの使用  
場面の拡大」『言語と交流』11
- ・ 倉持益子 (2011) 「「御苦労」系労い言葉の変遷」  
『明海日本語』16
- ・ 見坊豪紀 (1979) 『ことばのくずかご』筑摩書房
- ・ 皇麗梅・川本信幹 (1997) 「日本語・中国語に  
おける挨拶語の比較研究」『日本体育大学紀要』  
26-2
- ・ 塩田雄大 (2002) 「「ありがとう」とはどういう  
意味？」『日本語学』(11月臨時増刊号)21-14 (『日  
本語あれこれ事典』(2004年、明治書院)に再録)
- ・ 塩田雄大 (2006) 「インターネットを用いた言語  
調査の一試論 ―公開型ウェブ調査の結果から―」  
『NHK放送文化研究所 年報2006』第50集
- ・ 塩原淳平 (2006) 「大学のサークルにおけるスラ  
ングの浸透とそれにかかわる待遇性 ―別れの  
場面で使われる「おつかれさま」を例に―」  
『言語文化学研究 言語情報編』1
- ・ 杉山明子 (1984) 『現代人の統計3 社会調査の  
基本』朝倉書店
- ・ 清ルミ (2003) 「「つまらないものですが」考―  
実態調査と日本語教科書との比較から―」『異文  
化コミュニケーション研究』15
- ・ 竹内泰子 (2012) 「B1 レベルの「社会言語的な  
適切さ」について」『CEFR B1 言語活動・能力  
を考えるプロジェクト 2011 年度活動報告書』  
[<http://akira.arts.kuleuven.be/bestanden/B%201%20project.pdf>]

- ・ 田中浩史・山下洋子 (2009) 「放送で使われる敬  
語と視聴者の意識 平成20年度「ことばのゆれ」  
全国調査から」『放送研究と調査』59-6
- ・ 角田三枝 (2001) 『日本語クラスの異文化理解』  
くろしお出版
- ・ 徳川宗賢 (1993) 「ことばづかいの風土性」『方言  
地理学の展開』ひつじ研究叢書：言語編 第1巻
- ・ 登田龍彦 (2004) 「挨拶表現「お疲れ(さま)」  
について：誤用における相互主観化」『熊本大学  
教育学部紀要 人文科学』53
- ・ 直塚玲子 (1980) 『欧米人が沈黙するとき』大修  
館書店
- ・ 永野賢 (1969) 『につぼん語風俗学』明治書院・  
日語文化協会 (1941) 『日本語』1-4
- ・ 西尾純二 (2009) 「社会的なアプローチから見た  
配慮言語行動研究」『社会言語科学会 第23回  
大会発表論文集』
- ・ 深草耕太郎・坂本充・塩田雄大 (1998) 「「国内外」  
をどう読みますか ～「第8回ことばのゆれ全  
国調査」から～」『放送研究と調査』48-7
- ・ 藤原与一 (1954) 「文法」『日本方言学』吉川弘  
文館
- ・ 文化庁 (1981) 『「ことば」シリーズ14 あいさ  
つと言葉』大蔵省印刷局
- ・ 文化庁 (1998) 『平成9年度 国語に関する世論  
調査』大蔵省印刷局
- ・ 文化庁 (1999) 『平成10年度 国語に関する世  
論調査』大蔵省印刷局
- ・ 文化庁 (2006) 『平成17年度 国語に関する世  
論調査 日本人の敬語意識』国立印刷局
- ・ 文化庁編 (1995) 『言葉に関する問答集 総集編』  
大蔵省印刷局
- ・ 洪珉杓 (2007) 『日韓の言語文化の理解』風間書  
房
- ・ 向井留実子・湯晴 (2004) 「「ありがとうございます  
と「ありがとうございました」の使い分  
けについての一考察」『松山東雲 女子大学人文  
学部紀要』12
- ・ 森田良行 (1981) 『日本語の発想』冬樹社
- ・ 森田良行 (1988) 『日本語の類意表現』創拓社
- ・ 守屋三千代 (2003) 「スルとナル」『日本語運用  
文法 ―文法は表現する―』凡人社
- ・ 守屋三千代 (2004) 「日本語の配慮表現 ―文法  
構造からのアプローチ―」『日本語日本文学』14
- ・ 森山卓郎 (1990) 「「断り」の方略―対人関係調  
整とコミュニケーション」『言語』19-8
- ・ 山岡政紀 (2010) 「第7章 配慮表現とは何か」  
『コミュニケーションと配慮表現 ―日本語語用  
論入門―』明治書院
- ・ 熊鷹 (2009) 「自然現象名詞主語の他動詞文につ  
いて」『学習院大学人文科学論集』XVIII
- ・ 吉成祐子、ブラシャント・バルデシ、鄭聖汝 (2010)  
「非意図的な出来事における他動詞使用と責任意  
識 ―日本語・韓国語・マラーティー語の実態  
調査を通じて―」『ことばの対照』くろしお出版
- ・ 読売新聞新日本語取材班 (2005) 『新日本語の  
現場 第3集』中央公論新社

言語行動に関する調査（平成 24 年 1 月）単純集計結果

【調査の概要】

1. 調査時期：平成 24（2012）年 1 月 13 日～ 29 日
2. 調査方法：調査員による個別面接聴取法
3. 抽出方法：層化副次（二段）無作為抽出法
4. 調査相手：全国満 20 歳以上の男女 2,000 人
5. 調査有効数（率）：1,338 人（66.9%）

Q1. 「直接自分には関係のないこと」を「ひとごと」と表現することがあります。このことばをテレビの画面で見た場合に、次のどの書き方がふさわしくないと考えますか。ふさわしくないと考えるものをすべてお答えください。（M.A.）

- (ア) 「とても他人事とは思えない」…………… 19.1 %
- (イ) 「とても人事とは思えない」…………… 42.5
- (ウ) 「とてもひとごととは思えない」…………… 23.1
- (エ) 「とてもひと事とは思えない」…………… 32.5
- (オ) 「とても人ごととは思えない」…………… 25.3
- (カ) 「とても他人ごととは思えない」…………… 16.5
- (キ) この中にふさわしくないものはない  
（すべてふさわしい）…………… 14.7
- (ク) わからない…………… 5.0

Q2. では、「観客を引き付ける演技をする」ことを「みせる演技」と表現することがあります。この文章をテレビの画面で見た場合に、次のどの書き方がふさわしくないと考えますか。ふさわしくないと考えるものをすべてお答えください。（M.A.）

- (ア) 「魅せる演技をする」…………… 16.4 %
- (イ) 「見せる演技をする」…………… 47.8
- (ウ) 「みせる演技をする」…………… 38.7
- (エ) この中にふさわしくないものはない  
（すべてふさわしい）…………… 14.0
- (オ) わからない…………… 4.8

Q3. 電車のホームや車内のアナウンスとして車掌さんが使う言い方としては、次の中ではどれがもっともふさわしいと考えますか。

- (ア) 「ドアを開めます。」…………… 12.8 %
- (イ) 「ドアが開まります。」…………… 74.1
- (ウ) 「ドアを開めさせていただきます。」…………… 11.4
- (エ) どれもふさわしくない…………… 0.7
- (オ) わからない…………… 1.0

Q4. ここにあげる 2 つの言い方について、あなたのお考えにあてはまるものを 1 つだけお答えください。レストランで、客が店員に話すことばとしてお考えください。

- A. 「すみません、コップが割れてしまったんですが。」
- B. 「すみません、コップを割ってしまったんですが。」

- (ア) A がふさわしい（B はふさわしくない）…………… 10.6 %
- (イ) B がふさわしい（A はふさわしくない）…………… 65.4
- (ウ) 両方とも問題ないが、どちらかといえば A のほうがよりにくい言い方である…………… 4.7
- (エ) 両方とも問題ないが、どちらかといえば B のほうがよりにくい言い方である…………… 10.8
- (オ) 両方とも問題ないし、どちらも同じくらいににくい言い方である…………… 5.8
- (カ) 両方とも、この場合にはふさわしくない…………… 1.5
- (キ) わからない…………… 1.3

Q5. 「ご家族はお元気ですか」とたずねられて、「おかげさまで元気です」と答える場合があります。このように、「おかげさまで」という言い方を、直接的には世話になっていない人まで言うことについて、どう考えますか。

- (ア) 自分でもこのように言うことがあるし、この言い方はおかしくない…………… 60.7 %
- (イ) 自分でもこのように言うことはあるが、この言い方はおかしい…………… 14.3
- (ウ) 自分ではこのように言うことはないが、この言い方はおかしくない…………… 15.2
- (エ) 自分ではこのように言うことはないし、この言い方はおかしい…………… 8.2
- (オ) わからない…………… 1.6

Q6. 相手からのお願い・提案を断るつもりで「考えておきます」と言う場合があります。このような「考えておきます」について、どう考えますか。

- (ア) 自分でもこのように言うことがあるし、この言い方はおかしくない…………… 58.7 %
- (イ) 自分でもこのように言うことはあるが、この言い方はおかしい…………… 16.6
- (ウ) 自分ではこのように言うことはないが、この言い方はおかしくない…………… 11.5
- (エ) 自分ではこのように言うことはないし、この言い方はおかしい…………… 11.3
- (オ) わからない…………… 1.9

Q7. 相手に何かを贈呈するときに「つまらないものですが」と言う場合があります。このような「つまらないものですが」について、どう考えますか。

- (ア) 自分でもこのように言うことがあるし、この言い方はおかしくない…………… 48.8 %
- (イ) 自分でもこのように言うことはあるが、この言い方はおかしい…………… 22.9
- (ウ) 自分ではこのように言うことはないが、この言い方はおかしくない…………… 10.4
- (エ) 自分ではこのように言うことはないし、この言い方はおかしい…………… 16.8
- (オ) わからない…………… 1.1

Q8. だれかに会ったとき、最初に「このあいだはありがとう・先日はお世話になりました」などと、前回会ったときのお礼を言う場合があります。このようなことについて、どう考えますか。

- (ア) 必要なことだと思う…………… 78.9 %
- (イ) 必要のないことだと思う…………… 4.5
- (ウ) 互いに親しい間柄では必要だが、親しくない場合には必要ないと思う…………… 9.5
- (エ) 互いに親しくない間柄では必要だが、親しい場合には必要ないと思う…………… 6.1
- (オ) わからない…………… 1.0

Q9. 落としてしまったハンカチを知らない人に拾ってもらったとします。そのときのお礼のことばについてお答えください。

- (ア) 「ありがとう（ございます）」と言うのがふさわしい（「すみません（でした）」はふさわしくない）…………… 49.3 %
- (イ) 「すみません（でした）」と言うのがふさわしい（「ありがとう（ございます）」はふさわしくない）…………… 5.4
- (ウ) 両方とも問題ないが、どちらかといえば「ありがとう（ございます）」のほうがよりにくい言い方である…………… 31.5
- (エ) 両方とも問題ないが、どちらかといえば「すみません（でした）」のほうがよりにくい言い方である…………… 2.9



- (オ) 両方とも問題ないし、どちらも同じくらい  
ていねいな言い方である …………… 10.1
- (カ) 両方とも、この場合にはふさわしくない ……………0.1
- (キ) わからない ……………0.7

Q10. 次のような場面での「お疲れさまです」という表現について、どう思いますか。

※（その日に会うのが最初であるときに会話の冒頭で）  
「お疲れさまです。」

- (ア) 自分でもこのように言うことがあるし、  
この表現はおかしくない …………… 46.0 %
- (イ) 自分でもこのように言うことはあるが、  
この表現はおかしい …………… 15.4
- (ウ) 自分ではこのように言うことはないが、  
この表現はおかしくない ……………9.6
- (エ) 自分ではこのように言うことはないし、  
この表現はおかしい …………… 26.5
- (オ) わからない ……………2.4

Q11. 次のような場面での「お疲れさまです」という表現について、どう思いますか。

※（メールの冒頭で）「お疲れさまです。」

- (ア) 自分でもこのように書くことがあるし、  
この表現はおかしくない …………… 43.0 %
- (イ) 自分でもこのように書くことはあるが、  
この表現はおかしい ……………8.0
- (ウ) 自分ではこのように書くことはないが、  
この表現はおかしくない …………… 14.6
- (エ) 自分ではこのように書くことはないし、  
この表現はおかしい …………… 23.9
- (オ) わからない …………… 10.5

Q12. 次のような言い方について、もっともよくあてはまるものをお答えください。

「あそこに車がいるから気を付けて。」

- (ア) 自分でもこのように言うことがあるし、  
この言い方はおかしくない …………… 40.8 %
- (イ) 自分でもこのように言うことはあるが、  
この言い方はおかしい …………… 13.4
- (ウ) 自分ではこのように言うことはないが、  
この言い方はおかしくない ……………9.8
- (エ) 自分ではこのように言うことはないし、  
この言い方はおかしい …………… 33.8
- (オ) わからない ……………2.4

Q13. ファミリーレストランで順番待ちをすることになったとします。あなたが客であった場合、あなたに対する店員のことばづかいとして、ご自身の感じ方をお答えください。

- A. 「こちらにお名前をお書きいただけますか。」
  - B. 「こちらにお名前をお書きいただいてもよろしいですか。」

- (ア) Aがふさわしい（Bはふさわしくない）…………… 40.7 %
- (イ) Bがふさわしい（Aはふさわしくない）…………… 21.2
- (ウ) 両方とも問題ないが、どちらかといえば  
Aのほうがよりていねいな言い方である ……………6.4
- (エ) 両方とも問題ないが、どちらかといえば  
Bのほうがよりていねいな言い方である …………… 18.9
- (オ) 両方とも問題ないし、どちらも同じくらい  
ていねいな言い方である ……………8.6
- (カ) 両方とも、この場合にはふさわしくない ……………2.5
- (キ) わからない ……………1.6

Q14. 次の質問に対する答え方について、お考えにもっともよくあてはまるものをお答えください。

「きのう、朝ごはん食べましたか？」

- A. 「いいえ、食べていません。」
  - B. 「いいえ、食べませんでした。」

- (ア) A・B、どちらも正しい …………… 44.5 %
- (イ) Aは正しいが、Bはおかしい …………… 18.3
- (ウ) Bは正しいが、Aはおかしい …………… 30.9
- (エ) A・B、どちらもおかしい ……………5.1
- (オ) わからない ……………1.2

Q15. デパートの店員が、買い物をした客に対して「ありがとうございます。」と言ったり、「ありがとうございました。」と言ったりすることがあるかと思えます。この2つの言い方についてお答えください。

- (ア) 「ありがとうございます。」と言うのが  
ふさわしい（「ありがとうございました。」は  
ふさわしくない）…………… 12.3 %
- (イ) 「ありがとうございました。」と言うのが  
ふさわしい（「ありがとうございます。」は  
ふさわしくない）…………… 28.0
- (ウ) 両方とも問題ないが、どちらかといえば  
「ありがとうございます。」のほうが  
よりていねいな言い方である …………… 14.1
- (エ) 両方とも問題ないが、どちらかといえば  
「ありがとうございました。」のほうが  
よりていねいな言い方である …………… 20.2
- (オ) 両方とも問題ないし、どちらも同じくらい  
ていねいな言い方である …………… 24.1
- (カ) 両方とも、この場合にはふさわしくない ……………0.4
- (キ) わからない ……………1.0

Q16. 次の2つの言い方について、お考えにもっともよくあてはまるものを、それぞれお答えください。場面設定は、「テレビで、アナウンサーが、出演者に向かって話しかけることば」だと考えてみてください。

(1) 「ここに（そのまま）いてください」という意味で話しかける場合はいかがですか。

- A. 「こちらにいらしてください。」
  - B. 「こちらにいらっしゃってください。」

- (ア) A・B、どちらも正しい …………… 17.3 %
- (イ) Aは正しいが、Bはおかしい …………… 49.6
- (ウ) Bは正しいが、Aはおかしい …………… 15.9
- (エ) A・B、どちらもおかしい …………… 14.6
- (オ) わからない ……………2.6

(2) 「ここに来てください」という意味で話しかける場合はいかがですか。

- A. 「こちらにいらしてください。」
  - B. 「こちらにいらっしゃってください。」

- (ア) A・B、どちらも正しい …………… 28.0 %
- (イ) Aは正しいが、Bはおかしい …………… 41.2
- (ウ) Bは正しいが、Aはおかしい …………… 24.0
- (エ) A・B、どちらもおかしい ……………5.1
- (オ) わからない ……………1.7

(3) 「むこうに行ってください」という意味で話しかける場合はいかがですか。

- A. 「あちらにいらしてください。」  
 B. 「あちらにいらっしゃってください。」

- (ア) A・B、どちらも正しい …… 14.3 %  
 (イ) Aは正しいが、Bはおかしい …… 42.8  
 (ウ) Bは正しいが、Aはおかしい …… 21.0  
 (エ) A・B、どちらもおかしい …… 19.7  
 (オ) わからない …… 2.1

Q17. スーパーで、100円の買い物をしたときに、1万円札しか持っていなかったとします。このときに、あなたはどのようにしますか。お考えにもっとも近いものをお答えください。

- (ア) そのまま払う …… 15.5 %  
 (イ) 「1万円をお願いします」と言って払う …… 15.1  
 (ウ) 「1万円からお願いします」と言って払う …… 5.1  
 (エ) 「すみません、1万円をお願いします」と言って払う …… 49.0  
 (オ) 「すみません、1万円からお願いします」と言って払う …… 9.3  
 (カ) ここにある以外の言い方を …… 5.3  
 (キ) わからない …… 0.6

Q18. メールを書いて友人に出すときに、方言をまじえて書くことがありますか。

- (ア) 方言をまじえて書くことがよくある …… 16.3 %  
 (イ) 方言をまじえて書くことがときどきある …… 16.1  
 (ウ) 方言をまじえて書くことはあまりない …… 15.3  
 (エ) 方言をまじえて書くことはまったくない …… 29.7  
 (オ) ふだんメールを使わない …… 20.8  
 (カ) わからない …… 1.8

Q19. ことばづかいには、年代による差があります。お住まいの地域の中で言うと、ご自分のことばづかいと大きな差がないと感じるのはどれぐらいの年齢差まででしょうか。それぞれ数字でお答えください。

- (1) 自分より□□歳ぐらい年下から  
 (2) 自分より□□歳ぐらい年上まで

- (1) 年下:  
 (ア) 自分より10歳未満の年下 …… 24.5 %  
 (イ) 自分より10～19歳年下 …… 35.7  
 (ウ) 自分より20～29歳年下 …… 16.3  
 (エ) 自分より30歳以上年下 …… 8.1  
 (オ) わからない …… 15.3  
 (2) 年上:  
 (ア) 自分より10歳未満の年上 …… 23.5 %  
 (イ) 自分より10～19歳年上 …… 33.9  
 (ウ) 自分より20～29歳年上 …… 14.6  
 (エ) 自分より30歳以上年上 …… 9.1  
 (オ) わからない …… 18.8

【数字で答えられた結果を、(ア)から(エ)の4段階に再集計して上記のようにまとめた】

Q20. 「テレビ」と「インターネット」についてうかがいます。いわゆる「ことばの乱れ」については、現代で言うと、どちらのほうがより大きな原因になっていると思いますか。お考えにもっとも近いものをお答えください。

- (ア) どちらかと言えば「テレビ」のほうが大きな原因になっている …… 45.5 %  
 (イ) どちらかと言えば「インターネット」のほうが大きな原因になっている …… 17.9  
 (ウ) どちらとも同じくらい大きな原因になっている …… 22.8  
 (エ) どちらとも大きな原因にはなっていない …… 5.8  
 (オ) わからない …… 8.0

#### サンプル構成

全体	性別		年齢				
	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
1,338人	646	692	157	242	251	232	456
100%	48.3	51.7	11.7	18.1	18.8	17.3	34.1

全体	男					女				
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
1,338人	70	113	107	102	254	87	129	144	130	202
100%	5.2	8.4	8.0	7.6	19.0	6.5	9.6	10.8	9.7	15.1